

生体と材料の相互作用から 触感の物理的メカニズムを探る



キーワード 感性工学、界面化学、レオロジー、ソフトコンピューティング

秋山 庸子 AKIYAMA Yoko

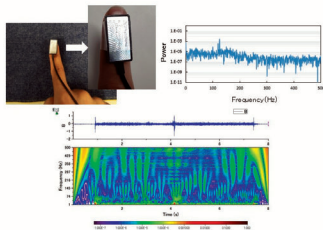
環境エネルギー工学専攻 准教授

環境資源・材料学講座 量子線生体材料工学領域



ここがポイント！【研究内容】

- 「しっとり」「さらさら」といった触感や、快・不快を決定づける物理的因子を解明しようとしています。
- 加速度センサー、6軸力覚センサー、摩擦計測などにより、触るときの動作や力を計測することで、どのような触感を感じているか、また快か不快かを推定しようとしています。
- データ解析には、周波数解析や人工知能を用い、被験者による官能評価と比較することで、機器測定による感性の推定を行おうとしています。
- 本研究は繊維製品や化粧品の開発、医療・福祉分野、触感の遠隔伝達に応用することを目指しています。



応用分野

医療・福祉分野、ヘルスケア製品・繊維製品、ロボット工学

論文・解説等

- [1] 秋山 庸子, 皮膚表面における塗布物のトライボロジーと触感評価, *Cosmetic stage* 15(4) 1 - 7, (2021).
- [2] 秋山 庸子, 界面相互作用の観点からとらえた触感, *色材協会誌* 93(2) 37 - 41, (2020).
- [3] 秋山庸子 (編者), 感覚重視型技術の最前線～心地良さと意外性を生み出す技術～, (株) CMC出版 2018年.

連絡先 URL

<http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/seeqb/seeqb/>

